



【令和8年度予算（案） 181百万円（342百万円）】

東アジア地域の大気環境改善のための国際協力を推進します。

1. 事業目的

アジア地域を始め途上国において依然として深刻な課題である大気汚染への対策のため、大気環境の保全に関する我が国の知見・経験の共有、技術的支援、能力構築等を実施することにより、国際協力を推進する。

2. 事業内容

（1）東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)の推進
国連環境総会(UNEA)決議を受け、東アジア13カ国が加盟するEANETの活動により、モニタリング強化、データ活用、能力構築等の地域協力を進める。
EANETの稼働から25周年の節目となる令和8年度の政府間会合等を日本で開催し、これまでの成果の発信と今後の推進に向けた議論を加速させる。

（2）日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM)の下での大気環境改善
日中韓サミットを受けて、TEMMの下での大気環境改善の取組として、日中韓大気環境政策対話と、日中韓にモンゴルを加えた黄砂の共同研究を行う。
3カ国共通の課題である光化学オキシダント等について、我が国の知識・経験を共有し、越境大気汚染対策を促進する。

（3）持続可能な窒素管理
持続可能な窒素管理に関する行動計画に基づく取組を促進するとともに、我が国の知見・経験の国際展開等により、アジア諸国の窒素管理に貢献する。

3. 事業スキーム

- 事業形態 ①請負業務、拠出金 ②③請負業務
- 請負先等 民間事業者・団体等
- 実施期間 平成14年度～

4. 事業イメージ



東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)



レーザーレーダーによる黄砂の観測